

2024(令和6)年度 研究計画書

部門名 災害看護部門

【研究組織】(必要に応じて行を増やしてください。)

役割	氏名	所属・職名	具体的役割分担
研究代表者	日赤花子	日本赤十字看護大学	研究総括
研究分担者	A	△△看護専門学校	調査計画
研究分担者	B	△△病院	調査データ分析
研究協力者	○○ ○○	○○○○	スーパーバイズ
協定締結企業	△△△△		○○にかかる技術提供

【研究計画】

I. 研究計画の概要		
1.	研究テーマ	看護系大学における防災対策・教育の実態
2.	研究概要	<p>(10行程度で記載してください。)</p> <p>東日本大震災以後、国内の防災・減災対策は極めて重要となり、すでに日本看護系大学協議会からも防災マニュアル指針が出されている。いっぽう、このマニュアルの活用程度や、個々の大学が具体的な防災対策等をどの程度講じているのか実態は明確ではない。</p> <p>本研究では、①アンケート調査と②面接調査を実施する。①では全国の看護系大学270校、および、A系列の専門学校16校を対象にアンケート調査をおこなう。また、②としてはA系列の6大学及び専門学校6~12校に研究依頼を行い、研究参加者を18名に対して面接調査を実施する。得られたデータは、①SPSSにて基本統計量及び記述統計分析を行い、②質的記述的分析を行い、看護系教育機関の実態を把握し、課題を明確にしたうえで現状に即した対策を講じていくための一助とする。</p>
3.	研究背景	<p>(先行研究及び関連文献の検討を含めて記述してください。)</p> <p>東日本大震災以後、国内の防災・減災対策は国及び地方自治体を始め様々なレベルで検討されている。なかでも防災教育という視点から、多角的に防災を学ぶための教育の必要性が指摘されている(2013.8.30.朝日新聞)。</p> <p>この課題は高等教育機関にとっても重要な課題である。特に看護系の高等教育機関である看護系大学、教育機関の中でも最も多くの養成数をもつ看護専門学校にとっては、自らの命を守るための防災意識や安全行動がとれるための防災教育を行だけでなく、災害時発生時に看護教育機関として地域住民や近隣の医療福祉施設の患者、入居者、家族等の命と人権を守る</p>

		<p>ための諸活動を担う等の課題を抱えている。</p> <p>すでに看護系の高等教育機関の防災対策に関しては、日本看護系大学協議会から防災マニュアル指針が出され(2013)、看護系大学として防災対策を進めるよう喚起がなされている。</p> <p>特に赤十字の看護教育機関は、赤十字の特性から災害看護や防災対策に関して、その取り組みに特徴があるのではないかと推測されるが、その実態はまだ明らかではない。そこで、一般の看護系教育機関の実態に加え、赤十字における教育機関の実態を調査することで、赤十字の防災対策や防災教育の特徴もさらに明確になるのではないかと考えた。</p> <p>これまでは、看護学生の防災に関する意識調査に関する研究(松清;2012^{※1}、松清;2009^{※2})はあるが、看護系教育機関としての取り組みの実態やそこでの課題を明確にした研究はまだ着手されていない。</p> <p>※1 松清(2012).○○○△△△.日本○○学会雑誌,20(1)18-24</p> <p>※2 松清(2009).○○○△△△.日本○○学会雑誌,20(1)18-24</p>
4.	研究目的	看護系教育機関の防災対策と防災教育の実態を明らかにする。
5.	研究意義	<p>(実践的意義・学術的意義を含めて記述してください。)</p> <p>全国の看護系教育機関の防災対策に関する実態を把握することで、今後の対策が明確になり、教育機関に関する防災対策を検討する基礎資料とすることができる。また、特に赤十字の教育機関における防災対策、防災教育の実態と課題を明確にすることで、赤十字の看護系教育機関における防災対策に関するマニュアル指針を検討すると同時に、その運用の具体的取り組み方法案を検討することが可能になる。</p>
6.	研究方法 ・研究デザイン	<p>該当する□に✔を記入してください。</p> <p>1) <input type="checkbox"/>量的研究 <input type="checkbox"/>質的研究 <input type="checkbox"/>混合研究</p> <p>2) <input checked="checked" type="checkbox"/>横断研究 <input type="checkbox"/>縦断研究</p> <p>3) <input type="checkbox"/>既存データの解析 <input type="checkbox"/>文献レビュー</p> <p>4) <input type="checkbox"/>観察 <input checked="checked" type="checkbox"/>面接 <input checked="checked" type="checkbox"/>質問紙 <input type="checkbox"/>フィールドワーク</p> <p>質問紙にチェックした場合回答してください。</p> <p><input type="checkbox"/>既存の尺度を使用する <input type="checkbox"/>使用しない</p> <p>既存の尺度を使用する場合はその名称と開発者の承諾がとれているか根拠資料と共に提出してください。</p> <p>(名称：) <input type="checkbox"/>根拠資料を添付した</p>

		<p>5) <input type="checkbox"/> 介入研究 (<input type="checkbox"/> 無作為化比較試験 RCT <input type="checkbox"/> RCT 以外)</p> <p>6) <input type="checkbox"/> 単部門研究 <input type="checkbox"/> 複数部門研究 (部門と大学教員との共同研究も含む)</p> <p><input type="checkbox"/> 単機関研究 <input type="checkbox"/> 多機関共同研究</p> <p>7) <input type="checkbox"/> その他 ()</p>
7.	参加者適格基準 (場所を含む)	<p><input type="checkbox"/> 保健医療職者 <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 被災者</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 (看護系教育機関)</p> <p><input type="checkbox"/> 未成年者 (<input type="checkbox"/> 18 歳未満 <input type="checkbox"/> 16 歳未満)</p> <p>① アンケート調査 選択基準：全国の看護系教育機関と A 系列専門学校の全数約 286 に所属する自校の防災対策に関する取り組みや実情について回答可能な者。 除外基準：A 系列以外の看護専門学校</p> <p>② 面接調査 選択基準：研究参加者は、本研究目的で明らかにしたい防災対策に関する取り組みや実情について語ることのできる方とする。 除外基準：特記すべきことなし</p>
8.	参加者数	<p>① アンケート調査； a: 全国の看護系大学： 270 校 (アンケート調査実施時の全数に調査を行う) b: A 系列の専門学校 16 校</p> <p>② 面接調査；看護教員 18 名程度 (赤十字 6 大学と専門学校 6 校)</p>
9.	研究期間 データ収集期間	<p>20〇〇年 4 月～20〇〇年 3 月 (複数年度に渡る計画の場合は、実施計画の覽に年度毎の実施計画を記入してください)</p>
10.	具体的実施計画 <注意> 研究方法により、 下記のような項目 を作成し記入して ください。	<p>a アンケート調査 (20××年、4 月から 3 月) アンケート用紙：看護系教育機関の教員が参加する学術集会の交流集会での意見聴取、先行文献の結果、日本看護系大学協議会の防災に関するマニュアル (2013) 等の内容をもとに作成し、専門家による意見を加味して洗練させ完成する。資料○ 調査内容：参加者の背景、防災対策に関する取り組みや実情、看護系大学においては日本看護系大学協議会から提示されたマニュアルの活用に関して等</p>

	<p>2) 参加者がいる研究の場合は、参加者募集方法を書く。</p> <p>3) 文献収集、翻訳研究の場合は、収集・翻訳を行う計画を書く。</p> <p>4) 機材開発やシステム開発研究の場合は、開発を行う計画を書く。</p>	<p>b 面接調査 (20×○年、4月から11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A系列の6大学及び専門学校6~12校程度(各ブロック1校~2校程度を無作為抽出しインタビュー先をリストアップする)に研究依頼を行い、研究参加者を18名程度募集する。 ・参加者の募り方: 専門学校については、A系列の各ブロックから1~2校を便宜的に抽出する。各大学および専門学校の長に書面により依頼を行い、該当者を紹介していただき、承諾が得られた方を参加者とする。 ・面接内容: 防災対策に関する取り組みや実情や課題等
<p>11.</p>	<p>データ収集方法</p> <p><注意> *研究方法によって異なるので、この欄は工夫して書いて下さい。</p>	<p>a. アンケート調査 上記アンケート用紙を、対象教育機関に郵送する。返却のための切手・封筒等は同封し、同意した施設は研究者に返送する。</p> <p>b. 面接調査 参加者と面接日時・場所の調整を行った後、対面にて・1回あたり60分のインタビューを1回実施し、データは許可を得てICレコーダーに録音する。</p>
<p>12.</p>	<p>データ分析方法</p> <p><注意> *この欄も研究方法によって異なるので、工夫して書いてください。</p>	<p>a アンケート調査 ・統計ソフト SPSS Statistics Ver.23 を使用し分析し、記述統計量を算出する。</p> <p>b 面接調査 ・インタビュー内容は逐語録に起こし、防災対策に関する取り組みや実情や課題に関して分析する。</p>
<p>II. 研究倫理</p> <p>日本赤十字看護大学研究倫理審査委員会により、研究倫理審査を行います。</p> <p>※申請予定 9月</p> <p>世界医師会の「ヘルシンキ宣言」以降の研究倫理に関する宣言、および「人を対象とする生命科学・医</p>		

<p>学系研究に関する倫理指針ガイドンス」「看護研究における倫理指針」「疫学研究に関する倫理指針」等の趣旨に沿って倫理的配慮を記載してください。</p>		
1.	説明に基づく同意	<p>(説明と同意、強制力の排除、同意撤回、代諾、アセント、オプトアウト)</p> <p>*代諾：本人の代理として同意・承諾の手続をすること</p> <p>*アセント：研究協力者が未成年の場合、対象者に分かりやすい言葉で十分説明し理解が得られるようにすること</p> <p>*オプトアウト：研究対象者に一人ずつ同意を得る代わりに、研究概要などの情報を通知あるいは公開し、研究の実施継続に関して、対象者が拒否できる機会を保障すること</p> <p>(1)研究者が所属する施設の研究倫理審査委員会の承認を受けてから、研究を実施する。</p> <p>(2)アンケート調査の場合は、アンケート用紙の返信をもって同意を得られたものとする。</p> <p>(3)インタビュー調査の場合は、書面による研究協力への同意を得た人のみを対象とし、途中中断してもよいことを伝え、自由意志による参加を保障する。途中中断の場合に使用できる同意撤回書を準備する。</p>
2.	個人情報・プライバシー保護	<p>(個人情報・要配慮個人情報の有無、プライバシー保護、匿名化、データ保管と破棄、収集したデータの二次利用の可能性)</p> <p>(1)研究結果は、研究参加者の関連学会や報告書にて公表すること、研究協力をいただいた施設には報告書を送付することをお約束する。また、公表に際しては個人及び施設を匿名化し、個人及び施設が特定されないよう配慮する。</p> <p>(2)データ入力作業や逐語録作成作業は業者に委託するが、プライバシーポリシーの公表をしている等の業者に委託し、個人情報を保護する。</p>
3.	安全と危険利益と負担	<p>該当する□に✓を記入してください。</p> <p>介入・調査の侵襲性</p> <p>□あり (□軽微な侵襲 □軽微を超える侵襲) <input checked="" type="checkbox"/>なし</p> <p>薬剤または医療機器の使用 □あり <input checked="" type="checkbox"/>なし</p> <p>遺伝子解析 □あり <input checked="" type="checkbox"/>なし</p> <p>危険/負担：(介入による負担の他、研究参加のための時間や費用の負担を含む)</p> <p>質問紙調査及び面接調査両者において時間的負担を生じる。</p> <p>インタビュー調査においては、インタビュー途中であっても表情や口調等からインタビューを継続することが困難な状況と考えられる際には、途中</p>

		<p>であっても中断もしくは中止する。またインタビュー終了後日にちが経過してからも不調が生じた際には院内のカウンセラーにつなぐなど適切な対応をとる。</p> <p>安全/利益：日頃自校で取り組んでいる防災対策に関する取り組みや実情や課題が明らかになり、施設レベルで改善に向けて検討をしていく一助となる。</p>
	補償	<p>補償措置 <input type="checkbox"/>あり（具体的に記入してください。）</p> <p><input type="checkbox"/>なし</p>
4.	報告・相談体制	<p>（研究計画変更、有害事象等の発生、研究の中止、終了等の報告等）</p> <p>（参加者からの問い合わせ先窓口と具体的対応等）</p> <p>研究代表者：○○ 連絡先：△</p>
5.	利益相反	<p><input type="checkbox"/>あり（具体的に記入してください。）</p> <p><input type="checkbox"/>なし</p>
III. その他		
1.	他の研究費 併願申請状況	<p>該当する<input type="checkbox"/>に✓を記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/>科研費（文部科学省-日本学術振興会科研費 JSPS）</p> <p><input type="checkbox"/>日本赤十字学園</p> <p><input type="checkbox"/>その他（具体的に記入してください。）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>なし</p>
2.	研究結果の還元	<p><input type="checkbox"/>学会発表（具体的学会、予定時期を明記してください。）</p> <p>日本赤十字看護学会、202〇年、日本災害看護学会、202〇年〇月</p> <p><input type="checkbox"/>論文発表（具体的学会、予定時期を記入してください。）</p> <p><input type="checkbox"/>HP公表</p>

【研究計画書（様式1）に添付する資料】（該当するに✓を記入してください。）

	倫理教育受講証	<input type="checkbox"/> 別添
	同意説明文等	<input type="checkbox"/> 説明文 <input type="checkbox"/> 同意書 <input type="checkbox"/> 同意撤回書
	参考資料	<input type="checkbox"/> （施設への協力依頼書、参加手順書、アンケート用紙、インタビューガイド、ポスター等）
	その他	<input type="checkbox"/> （他施設の倫理審査承認書等）